

パンタナール通信

南北米福地開発協会 会報 2004年9月1日発行 第12号

家族で楽しむエコツアー



エコツアーに参加した家族と現地で働く日本人スタッフ (新しい給水塔の前で)

七月末から八月十三日まで家族を伴って、パラグアイ、パンタナールに行き、南北米福地開発協会が開拓しているレダの地に滞在したエコツアー一行は大自然に触れ感動し、また、近隣のインディヒナの村を訪問し、文具を学校に寄付して来ました。参加した一人は「約1週間、滞在させて頂いたレダでの生活は私の人生の中でも忘れられないものとなりました。人間がこの地球上、いや、宇宙の中でどう生きるかを教えられたからです。小さい時に体験した、自然や動物達との共生が思い起こされました。レダの中に居ると体の細胞、一つ一つが生き返るのが分かります。空気が美味しい！食事が美味しい！生きているのが嬉しい！」と感想を述べていました。



釣り(パラグアイ川)



夕陽



乗馬を楽しむ



小学校に文具贈呈

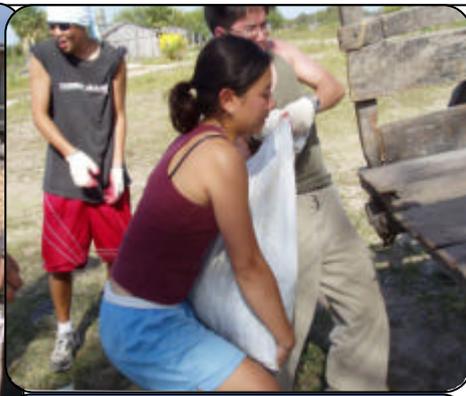
南北米福地開発協会事務局

東京都渋谷区神宮前六一九一四 神宮前ハッピービル十階
〒一五〇一〇〇〇一 電話(〇三)五七七四一〇五四四

FAX(〇三)三四〇七七一四五

エスペランサ村中学校建設に青年奉仕隊が二十五日成田から出発しました。多くの会員の皆様から建設資金を支援していただき心から感謝しています。

今回のエスペランサ村、中学校建設は既にアメリカの青年達が現地に居る日本のスタッフと共に奉仕してきました。建設は続行しており、日本からのボランティアは八月二十九日から作業に入り、九月十四日に帰ることになっています。



八月一日、開発地レダに八十トンの水を貯水できる高さ十六mの第二給水塔が立ち上がりました。パラグアイ川の水を、給水塔から奥地へパイプを引き、乾季にも牧草を育てられる様になります。豊かな牧草を持つ観光牧場を造ることが出来ます。また、給水塔からの水により、奥地にも苗木を植え、樹を育てることが出来るようになり、乾いた大地が森になり、自然環境を豊かにする重要な役割を果たしてくれる事と期待しています。



義捐金のお願い
八月一日 昼前に大型スーパー・イクア・ポラーニヨにて大規模な爆発・火災が発生しました。四百名以上の犠牲者を出し、パラグアイ史上最悪の事態となりました。店のオーナーは人命より品物の盗難を恐れて全ての出口を閉ざしこのよくな惨事となりました
私達、南北米開発協会も被災者に対して、援助をすることを決定し、八月九日に義捐金を大使館まで届けてきました。一般の会員の方にも願っています。

一日は日曜日でもあり、家族ずれの客が多く、残された子供が孤児となっているとの事です。
左記口座に義捐金を入れてください

郵便口座 南北米福地開発協会 代表 柴沼邦彦

一〇一八〇一

七七八〇四七一

義捐金とお書き下さい

